



ゆもと通信

大田区 地元の『ゆもと』

自由民主党大田区議団・無所属の会 幹事長
大田区議会議員(5期目)

第24号

2024年4月10日 増刷

大田区政策提言

令和6年度予算 自由民主党大田区議団・無所属の会(以下略称 自民・無所属の会)をはじめ賛成多数で可決しました。

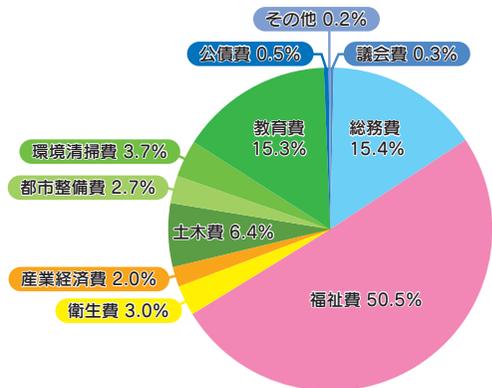
令和6年度予算の特徴

- 税収は昨年度と比べると8.4%増と大幅な増加
- こども関連予算 昨年度比12.4%増(予算全体の3割超)
- 福祉費は予算全体の5割超
- SDGs 関連の環境対策施策の強化
- 物価高騰対策を予算化
- 計画的な投資的経費の確保 などが挙げられます。

令和6年度予算規模は3,412億円(過去最高)

前年度当初予算対比+8.4% 大幅な増加率

款	予算(千円)	構成比(%)
議会費	1,150,739	0.3
総務費	52,394,597	15.4
福祉費	172,351,567	50.5
衛生費	10,325,775	3.0
産業経済費	6,848,082	2.0
土木費	21,721,480	6.4
都市整備費	9,378,169	2.7
環境清掃費	12,670,519	3.7
教育費	52,176,687	15.3
公債費	1,635,585	0.5
その他	556,781	0.2
合計	341,209,981	100.0



歳出総額 3,412億998万1千円
福祉費は区歳出の5割以上を占める

図 1

引用元：区長記者会見資料

区の予算を昨年と比較すると、税収は伸びていますので社会全体の経済成長は数字から読み取れます。その一方で物価高騰により経済格差は広がりました。なので、その点を補う為の施策が予算化されました。

また、中長期的な視点で見ると人口減少が社会全体に影響を与えています。大田区が社会を支える世代に選ばれ、支える世代の区内流入・定住を促進させなければ大田区の発展・福祉の充実を図れません。どこで子育てするかを検討する際に、大田区の子育てサポートや環境の良さ、学校をはじめ教育環境の充実・災害への備え・治安対策の充実・自然と調和のとれた街づくり…など他地域と比較した際に大田区が選ばれるように施策の充実を図らなければ支える世代の流入は実現できません。世代的なバランスを考え予算編成をするように自民・無所属の会からも大田区へ議会等を通じて強く要望を上げてきました。

可決された予算は我が会派の要望を重く受けとめて編成された予算であり、高く評価し予算に賛成しました。一つ注文をつけるなら、元日の能登半島地震が発生し被災をしました。被災状況から、自然の驚異は改めて私たちの想定を超えることを痛感させられました。必要に応じて補正予算を組んでも防災力強化に向けて具体的な取り組みを実現していく必要を感じています。

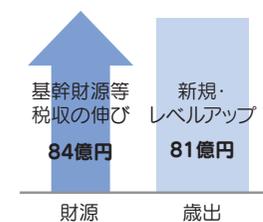
区の予算が区民の支えとなり、区民の皆様が安心して暮らせる大田区を作っていきます。



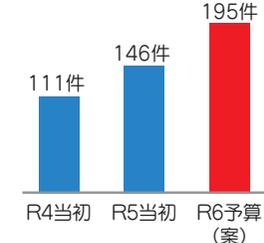
“施策の新陳代謝”と“財政対応力の戦略的な活用”

- ◆ 令和6年度の基幹財源等収入は、前年度比**84億円増の1,911億円**
- ◆ この増収分は、**新たな取り組み**や**事業拡充**に活用
- ◆ 令和6年度の投資的経費は、前年度比**107億円増の547億円**
- ◆ 財源として、**基金と特別区債**を**戦略的に活用**

①新規・レベルアップ事業の財源



②新規・レベルアップ事業の構案件数



①主な基金残高の推移
積極的な基金の積立
計画的な基金の活用



②特別区債残高の推移



貯金

借金

限りある経営資源を効果的・効率的に配分

未来への投資や新たな財政需要に応える予算

図 2

引用元：区長記者会見資料

鈴木あきまさ区長へ自民・無所属の会から要望書を提出

昨年1年間に自民・無所属の会派として要望書を4回提出しました。

 自転車施策に係わる安全対策に関する緊急要望 (令和5年6月30日)

 令和6年度予算編成に向けての重点要望 (令和5年11月3日)

 幼児教育の無償化に関する緊急要望 (令和5年11月13日)

 物価高騰対策等に関する緊急要望 (令和5年11月13日)



計画的な予算の使い方ができる様に、1年間でやることを想定して当初予算(本予算ともいう)が組まれます。ですが、想定外の出来事や、国・都から年度途中で予算が付くことがあります。令和5年でいえば臨時交付金などがそれにあたります。臨時交付金は、市区町村の実情に合わせて一定程度の自由度があります。そこで自民・無所属の会として、その裁量を活かして物価高騰対策の物流業界支援、介護・障害福祉・保育所などの社会福祉施設支援、低所得者向けの給付金の速やかな予算措置と執行に焦点をあて、社会課題解決にあたって欲しいという要望を上げました。

この要望は補正予算が生まれ実現をしました。引き続き必要なタイミングで必要な予算執行が行える柔軟な区政運営を目指していきます。その為に必要なのが財政のコントロールです。分かりやすくいうと貯金(基金)と借金(特別区債)を賢く使うということです。令和6年の様に税収が増えている時は借金を減らし、貯金を取り崩しても財政的な余裕は維持できます。(図2参照)

一方で税収が減っている時に区民を支える時は必要に応じて借金をします。その時までは区の借金はなるべく少なくしていた方が、いざという時にお金を調達できる選択肢が増えることとなります。区民が困ったときに、頼れる頼もしい大田区を目指します。



とくにやりたい事(令和6年度)

 **公立小学校の教科担任制実施拡大**

 **学習支援の区内統一基準の設定**

 **防犯カメラの更なる設置**

 **防災対策の更なる強化(能登半島地震を教訓に)**

 **区内企業の海外人材確保支援施策の構築**

 **公民連携による公園利活用の推進**

 **物価高騰対策**

 **バスの減便による交通不便解消対策**

 **仮称 大田FM 開設準備**
(防災活用を視野に入れています)

他にも取り組みたいことは多くありますが区内全体に関わる課題を記載しました。「こういう課題に取り組んで欲しい」という皆さんの声がありましたらご連絡下さい。



ゆもと良太郎 プロフィール 47歳3月の父

昭和51年5月10日
大田区大森生まれ(A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。都議会議員秘書を経て、
平成15年4月
大田区議会議員選挙に自由民主党公認弱冠26歳で初出馬、初当選(5536票)。66候補者中、新人1位。
平成19年4月 大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)。

平成27年4月 大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。
平成31年4月 大田区議会議員選挙において4期目の当選(7794票)。
令和5年4月 大田区議会議員選挙において5期目の当選(4592票)。
令和5年度
◆自由民主党大田区議団・無所属の会 幹事長
◆シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会(副委員長)
◆議会運営委員会

区政に対するみなさまのご意見をおきかせ下さい!

大田区議会議員 ゆもと良太郎事務所
〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10
TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482
<http://www.yumoryo-otacity.jp> ✉ info@yumoryo-otacity.jp

